



20240410

校長の戯言 ♪ No.6 ♪ SEISHUKAN あ・ら・かると



鹿児島県立川薩清修館高等学校長 幸多優

始業式

この日は生憎の雨であった。2・3年生の生徒たちは旧クラスの朝の会で新しいクラスと担任を知る。以前はクラス編成だけは掲示で知らせ、担任発表は始業式の中で行っていた。生徒の中には、歓喜やブーイングをあからさまに発する者もいた。その頃は嫌な思いをする職員もいたが、今ではおとなしいものである。時代は日々変化していることをこのような場面でも感じる。



■新任式

新任式では9人の新任者に登壇していただき、それぞれの想いを交えて自己紹介があった。生徒からは一緒に楽しい学校生活が送れるようにご指導くださいと歓迎の言葉が送られた。教職員が毎年1～2割程度入れ替わることは、新しい空気を取り入れられ、学校組織の活性化に繋がると思う。これは公立学校の大きなメリットであり、今後も大切な人事異動である。

■中学校入学式へ参列

教頭、事務長と三人で近隣の中学校の入学式へ参列させていただいた。私は入来中学校に参列。吹奏楽部の演奏で、36人の新入生が爽やかに入場。先日までランドセルを背負っていた子どもたちが、大きな新しい制服に身を包まれお兄ちゃん、お姉ちゃんになった姿が微笑ましかった。



■入学式

久しぶりの快晴に恵まれた入学式当日。新入生の表情は新しい先生方やクラスの仲間たちを目の前に不安と期待で満ち溢れていた。これから待っている高校生活には希望と夢が詰まっている。自分で自分の夢を見つけて、高校生活を楽しむように式辞を述べた。入学式の翌日からはオリエンテーション、対面式、部活動紹介などの行事が詰まっている。校内見学では校長室にも来た。この部屋にはいつでも遊びに来なさいと伝えた。その瞬間に一人の生徒が「ここで弁当を食べてもいいですか？」と質問がきた。「さすがにお客さんがくる部屋だから、唐揚げなどの美味しい匂いが残ると困るからそれだけは勘弁してね。」と笑いながらの逃げ口上。これからの高校生活は自分たちで楽しみを見つけて、遊びなさい。とアドバイスをした。

